

こころ

県P連だより

編集 徳島市北田宮 1丁目 8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページ
<http://www.tokukenpta.com/>

子どもと共に成長していくために

会長 泉 富士夫



日頃より会員の皆様方におかれましては、県PTA連合会の活動に際しましてご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

本年初頭よりコロナ禍の中、教育の世界でも多くの困難や変革が起っています。

今まで当たり前の事ができなくなり、対策の為心身共に疲弊する事が多くなっています。

当連合会でもリモート会議に対応できるように規約改定や、単位PTAで運用可能な事例文書等の発出や保険対応コロナ相談窓口の開設等を行ってまいりました。

まだまだ二波、三波と感染は流行していますが、今回再確

栄えある全国表彰

十一月二十七日(金)東京の灘尾ホールに於いて日本PTA全国協議会表彰式が行われました。本県関係の受賞者は次の通りです。心よりお喜び申し上げます。

日本PTA全国協議会

会長表彰・団体

上勝町立上勝小学校PTA

美馬市立木屋平幼稚園・小中学校PTA

認された大事なことがあります。それは子ども達の心身ともに健全な成長を図るため主体的に取り組む、第一義的責任を有するのは保護者であります。

研修会、総会等でも何度出でくるこの言葉を心に留め置き子ども達の教育の原点は家庭教育にある事を認識し、高い意識をもって学校教育、社会教育について理解を深め責任を果たし、子どもと共に成長して参りましょう。

また、県PTA連合会と致しまして子ども達の教育環境の充実をより推進する為、関係機関等や家庭・学校・地域へ連携協力を深め情報提供、共有、発信に努めて参ります。引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本PTA全国協議会

会長表彰・個人

県P連前副会長 福永 浩司

県P連前副会長 (驚敷小P)

県P連前副会長 三木 豪

県P連前副会長 (御所小P)

県P連前副会長 山根 政和

県P連前副会長 (藍畑小P)

県P連前副会長 和瀨 祥章

県P連前副会長 (桑野小P)

県P連総会

本年度の定期総会は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため書面決議で行いました。その結果、全ての議案について、議決権行使書提出者全員賛成をもって可決されました。

令和2年度 役員

会長 泉 富士夫

副会長 半山 剛志 (役員会推薦)

清原 裕登 (名西)

板東 二郎 (阿南)

井本 友子 (阿波)

(役員会推薦)

上野弘一朗 (役員会推薦)

佐藤 央一 (役員会推薦)

(役員会推薦)

秋山 和雄

(県小学校長会代表)

向原 敬夫

(県中学校長会副会長)

中津 洋久

(鳴門)

松田 貴志

(勝浦)

榎谷 将志

(那賀)

野田 穰嗣

(海部)

遠藤 圭介

(美馬)

木下 淳夫

(つるぎ)

山西 茂

(三好)

楠本 水穂

(板野)

株田 昌明

(小松島)

山口 奈美

(吉野川)

永濱 浩幸

(板野)

顧問 先田 仁美

(鳴門)

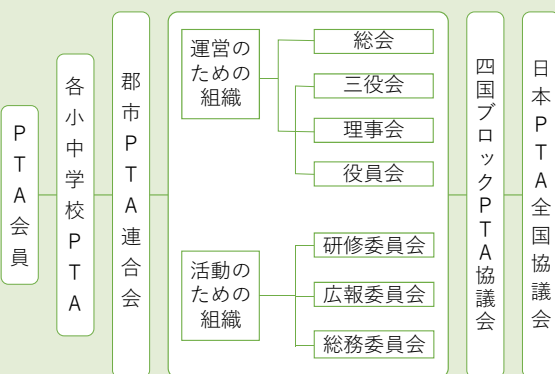
広報委員長 北地 克匡

(吉野川)

総務委員長 泉 富士夫

(役員会推薦)

徳島県PTA連合会とはどんな組織?



徳島県PTA連合会って何をしているの?

- ・郡市PTA連合会に様々な情報を発信します。
- ・各種大会や研修会の実施、活動の要望また表彰等を行います。
- ・会員の支援のための助成活動を行います。
- ・関係団体との連携・協力をを行います。

中部ブロック 名西郡PTA連合会

会長 半山 剛志

名西郡 PTA 連合会は、石井町 PTA 連合会・神山町 PTA 連合会の 2 支部で組織され当郡 PTA 連合会は、会長、副会長、家庭教育、監事、事務局の役職で構成されています。

地域ぐるみで子どもたちが明るく希望をもてるように様々な取り組みをそれぞれの組織で行っております。

当郡 PTA 連合会のスタートは毎年 5 月に開催される名西郡 PTA 連合総会からはじまり、前年度を振り返るとともに本年度の活動に生かせる話し合いを行っています。総会が各単 P が揃っての初めての活動ですが、運営協議をし連携を図ることで新しい取り組みが生まれます。

年間行事の中で毎年最初に行われている町 P レクリエーションでの球技大会。

毎年 6 月の第四日曜日に開催しておりソフトボールとバレーボールの 2 競技が行われます。

各幼・小・中が参加しソフトボール、バレーボールで各 30 チーム程が、ルールを守りながら



毎年楽しく、熱い試合が繰り広げられています。本大会や、スポーツを通じて地域の会員との連携プレーや親睦も深めるきっかけとなっています。

毎年開催しております「名西郡学校保健研修会」では学校における保健の研究並びに保健思想の普及発達を図り、幼児・児童・生徒の健康増進、郡内学校保健の向上や推進を目的に行われています。

また人権教育では学校から家庭・地域へとつながる人権尊重の町づくりをテーマに女性・子ども・高齢者・障がい者など様々な個人人権課題の解消に向け、広がりのある活動も行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為に中止になったり、それぞれが小規模での活動となったりしていますが、次年度にも生かせる活動をしていきたいと思います。



我が家のステイホーム

STAY HOME



2 月末に突然の休校を余儀なくされ、緊急事態宣言により外出自粛要請も出される中、“我が家のステイホーム”として大変だったことや逆に良かったことなどのエピソードをご紹介します。



★我が家のコロナ対策

緊急事態宣言が出されてから、我が家でコロナ対策の話し合いを行いました。

- ①基本的には必要不可欠な外出以外は控える。
 - ②こまめな換気、手すりやドアノブの消毒
 - ③マスクの着用や帰宅後すぐのシャワーなど…
- 基本的なことですが、家族で習慣となり現在も継続中です。（石井町 M. I）

★我が家のステイホーム

私の家族は、97歳の大きいばあちゃんと75歳の小さいばあちゃんと夫婦、2兄弟の6人家族です。普段は、夫婦ともに勤務交代でなかなか6人で揃う事がないのですが、コロナ禍で何度も揃う事がありました。そんな時、みんなでトランプしたりテレビを観たり、少しでも同じ空間にいる事が有り難いと思う気持ちになりました。口には出さないけど、何か不安があるのですね。手洗い、うがい、消毒、当たり前の事だけ習慣になっています。感染しない、させないためにお互いを思いやるからこそできる事です。（阿南市 T. I）

★我が家のコロナ対策

「待機・・・」この一言につきます。

新型コロナウイルス感染症防止のため学校休校が決まり、祖父母に子どもたちを任せ、多大な負担をかけ、休日に出かけることもなく、自宅待機する日々。また、不足した「マスク」「体温計」を求め、ドラッグストアをめぐる日々でした。（つるぎ町 S. M）



★我が家のコロナ対策

普段、寮生活を送っている高校生の長男も帰省し、中学生の次男との集まり。2人とも部活をやっていることもあり、1回の食事の量が半端ない。もちろん食費も半端ない。寮の食事や学校給食に感謝する今日この頃です。（美馬市 K. A）

★テニス三昧

小6の息子は硬式テニスを習っており、スクールが休みにならなかったのも、通常の週6テニス三昧の日々を送っていました。大きな試合はなくなったものの、長期休みになってしまったスクールもある中で、毎日好きなテニスをさせていただいたことに改めて感謝の気持ちでいっぱいでした。当たり前が当たり前でなくなるという事、当たり前の日常に感謝の気持ちを持てるという事を、皮肉にもこのコロナで学びました。（鳴門市 H. S）



★我が家のステイコロナ

コロナ感染予防対策により、我が家の生活は一変しました。コロナが発生するまでは毎週末、バレーボールの練習や試合で出かけていました。コロナ発生後は、家でゆっくり過ごす機会が増えました。目標がなくなり、子どものモチベーションが下がったことは残念ですが、家族団らんが増えたことは良かったかな？と感じています。（穴喰町 A. E）

ブロック別PTA活動紹介

～地域の伝統を守り 未来へつなげよう～

家庭・学校・地域の連携

★次号のブロック別PTA紹介は、那賀郡P連、つるぎ町P連です。

南部ブロック 勝浦郡PTA連合会

会長 松田 貴志

勝浦郡PTA連合会は、勝浦町3校（横瀬、生比奈両小学校と勝浦中学校）、上勝町2校（上勝小学校、上勝中学校）の計5校で構成されています。

少子高齢化や過疎化により、各学校の児童・生徒数は減少の一途を辿り、令和2年度の児童数は横瀬小学校78名（55世帯）、生比奈小学校112名（85世帯）、上勝小学校38名（29世帯）、生徒数は勝浦中学校98名（88世帯）、上勝中学校13名（12世帯）になっています。

それぞれの単P毎に各専門部会を設置して、さまざまな事業を実施していますが、郡P連としての行事は総会、役員会等の各種会合のほかは、毎年6月に郡PTA連合会加盟5小中学校と勝浦町にある小松島西高校勝浦校PTAが参加して、郡P連球技大会（ソフトバレーボール）を実施しています。昨年度は各学校から2チームずつ合計12チームが参加して3チームずつ、4グループによるリーグ戦を行い、それぞれの1位チームによる決勝トーナメント方式での開催になりました。小松島西高校勝浦校については、郡内唯一の高等学校として以前より交流、親睦等を目的に勝浦高校時代より伝統として継続されています。

令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により、総会のみ開催しましたが、それ以外の事業（球技大会）は残念ながら実施できていません。活動が自粛される中で、あらためてPTA活動の意義、目的について考えさせられる機会となりました。

他地域と同様に勝浦郡では児童・生徒数の減少に伴い加盟世帯数と教職員が減少しています。さらには多様化する保護者のニーズや煩雑化が進む学校の事務作業に対応する「働き方改革」を実践するためにも、PTAの事務局機能や事業実施に伴う業務分担等、「現状のままで良いのか？」との観点から、PTAとして事業の選択と集中が図られることも大切です。

中でも各地域で活動しているPTAの全国組織である「公益社団法人日本PTA全国協議会」の綱領にもあ



るように、「社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する」とありますが、「地方分権」「地方創生」と地域の特色を生かした、いわゆる「まちづくり」が実践される中で、「PTA」の役割自体も地域によって千差万別、多様性があって然るべきと考えます。さらにwithコロナ時代に対応する組織の在り方を考慮すると、活動の原点でもある綱領で謳われている目的を達成するためにも、保護者と学校に加え、今まで以上に地域住民が深く関わることのできる組織「PTCA」（PTA+Community）への発展が必要ではないでしょうか。

私の地元、勝浦町では令和2年度よりコミュニティスクール（学校運営協議会）制度を導入し、地域住民が学校運営に対しての関与を強める、地域と学校が持ちつ持たれつの不可分の関係構築に向けての歩みを始めました。以前より、総合学習での職場体験や町探検、各種行事への参加等、地域住民との関わりは深いものでありましたが、今後は学校の運営方針や教職員の任用に関しても意見することができます。

しかし、以前から設置されている「学校支援地域本部」等と目的や事業内容が重なることから、教育委員会に対してそれぞれの組織が一体的に、効率的に運用、活動できるような組織体に統合できないか働きかけをしています。今回のコミュニティスクール導入をきっかけとして、組織の統廃合はもちろんのこと、保護者や教職員、地域住民が「できること」「できないこと」を整理して、子どもたちや学校に足りない部分を補い合える「互助の精神」を中心に掲げた組織づくりが必要と考えます。

勝浦郡をはじめ多くの地域で児童・生徒数が減少し、学校運営はもとよりPTAや子ども会などの活動に支障をきたしています。コロナ禍で多大な影響を受けている子どもの未来、地域の未来のために、今を生きる私たちが考え行動しなければなりません。いま一度「PTA」の意義や目的を振り返り、一歩ずつ進んでいくための処方箋をみんなで考えていきたいです。



西部ブロック 吉野川市 PTA 連合会

会長 山口 奈美

本年度の吉野川市 PTA 連合会は、11小学校・5中学校で構成されており、児童・生徒数は2,633名です。

各学校の PTA が学校ごとの行事や活動、吉野川市 PTA 連合会の活動を熱心に行っています。本年度は、昨年度末に実施された新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業、新年度以降も続いた臨時休業や分散登校による授業時間の確保や感染拡大防止のため、ほとんどの学校行事・PTA 行事が中止や延期になっている状況です。そこで今回は、吉野川市 PTA 連合会の例年の取組やここ数年の活動について報告させていただきます。

毎年秋に市内で開催される「人権のつどい」には、吉野川市 PTA 連合会の人権・家庭教育委員会が中心となって企画運営を行っています。この「人権のつどい」は、人権教育・各種人権問題に関すること、家庭教育に関することの普及啓発を目的としています。昨年度は牛島小学校が事務局を務め、オープニングとして牛島小学校 PTA による実践発表「“つながり”で育つ牛島小学校」のテーマでの発表がありました。その後阿波市民劇団「千の舞い座」による人権劇「千の舞い～ふるさとへ帰りたい～」の上演がありました。「千の舞い座」は、ハンセン病やハンセン病回復者の人権問題を正しく知ってほしいという願いのもと結成されたボランティア劇団で、県内各地で上演をされています。この劇はあるハンセン病回復者である女性の半生を脚本化したもので、劇を通じてハンセン病について正しい知識と理解を持つとともに、差別や偏見をなくすためにどうすればいいか、自分たちに何ができるのかを考えてもらおうとするような内容でした。

本年度は、学島小学校が事務局となり、11月14日（土）の午後1時から、山川アメニティーホールで開催される予定です。学島小学校の児童や PTA の会員さんによるこれまでの取組に関する発表や人権コンサートが計画されています。新型コロナウイルス



イルス感染症拡大防止の観点から、制約や不便な点があるかと思いますが、本市 P 連主催行事として14年の歴史があるこの行事を、継続・発展させていくために市 P 連としても協力をしていきたいと思っています。



また、以前は吉野川市 PTA 球技大会が毎年8月下旬に開催されていて、吉野川市 PTA 連合会の厚生委員会が中心となって企画運営を行っていましたが、平成29年度からは、夏季休業日の短縮や熱中症対策のため、市内一斉の実施を中止し、各中学校区単位で親睦球技大会を実施しています。

平成28年度には、本県で第64回日本 PTA 全国研究大会徳島うすしお大会が開催され、吉野川市は、8月20日（土）に鴨島公民館を会場にして、第4分科会「人権教育」で発表を行いました。

当日は西麻植小学校の PTA が「地域とともに歩んだ人権教育活動」のテーマで、小学校と地域が一体となって人権学習に取り組んできた実践を発表することができました。西麻植小学校区には、およそ50年にわたって続く、小学校の5・6年生が少人数グループに分かれて宿泊し、人権学習をする活動があります。国の対策のための法律が期限を迎えたあと、地域の保護者の熱意によって吉野川市単独の事業として現在も継続しています。他にも小学校の教員と PTA 会員と一緒に保護者の家庭を訪問して、人権問題について話し合いをするという実践も伝統がある活動です。どの会員さんも「この機会に自分たちが取り組んできた人権教育を全国に発信したい！」と明るく前向きに、発表に取り組んでいました。この発表に向けての取組の中で、地域の方々のふるさとに対する誇りや自負、地域の子どもたちへの深い愛と情熱を感じることができました。

新型コロナウイルス感染症の広がりという困難を必ず乗り越えて、吉野川市 PTA 連合会の活動がさらに発展していけるよう、会員が一丸となって取り組みます。引き続きご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

徳島県 PTA 連合会

小・中学生総合保障制度 自転車総合保障制度

詳しい内容は
パンフレットを
ご覧になるか
取扱代理店に
お問い合わせ
ください

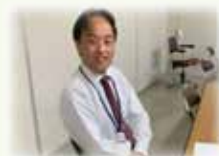
PTAの皆さんが“今”気になっていること、
知りたいことを教えてください!!今回は
「学校におけるコロナ対策等」について。



今回お話を伺ったのは・・・

徳島県教育委員会体育学校安全課 防災・健康教育幹

三原 善仁 先生



Q1. もし、子どもが通っている学校でコロナ感染者が確認された場合、どのような行動をとるべきか?

A. 学校で感染者が確認された場合、ほとんどの場合において臨時休業の措置がとられることになります。臨時休業中は、児童生徒の体温測定等の健康観察を徹底していただき、できるだけ不要不急の外出は避けていただきたいと思います。また、新型コロナウイルス感染症を理由としたいじめや偏見、差別に繋がる行為は絶対に許されないものです。噂やデマに惑わされることなく、正しい情報に基づいた行動をお願いします。児童生徒の不安やストレスが見られる場合は、学校を通じて専門機関へ相談していただく等の心のケアについてもよろしくお願いします。

Q2. 学校の長期休業による学習の遅れ、また、学力低下などが心配されるが、現在徳島県内の学校ではどのような状況ですか?遅れをその時期相応に取り戻せるのでしょうか?

A. 各学校では、学習の遅れを取り戻すために、夏季休業日を短縮したり球技大会や文化祭等の学校行事を短縮したりといった対策を行い、授業時間の確保に努めてきました。また、学力を保障するため、補習を実施したり、補充のための課題を出したりといった工夫のある取組も進めています。現在のところ、全ての学校で学習の遅れを取り戻すことができています。

Q3. 給食の準備や配膳において、各学校ではどのように対策をされていますか?

A. ①配膳前に配膳台、児童生徒の机上をアルコール等で消毒する。②低学年においては、児童でなく教職員が担当する。③自分の給食は自分で取りに行く。④配食が難しいものについては、教職員が担当する。
学校給食調理場によっては、副菜をやめて具だくさんみそ汁にしたり、配食が難しい献立を避けたりするなどして、配膳に時間がかからないようにする。手巻き寿司など素手で食べる献立を避ける。等の工夫も行っています。

Q4. 学校におけるコロナ対策として、徳島県教育委員会では現在どのような取組をされているのでしょうか?

A. 徳島県教育委員会では、全ての学校に県から通知を発出し、新しい生活様式を取り入れた学校での対応や、陽性者が確認された場合の対応について周知しています。県教育委員会内で、学校における「新型コロナウイルス感染症対策チーム」を設置し、情報を共有しながら児童生徒に陽性者が確認された場合、迅速な対応をとることができる体制をとっています。児童生徒の不安やストレス等に対応できるよう、スクールカウンセラーによる相談体制を整えています。

～三原先生からのメッセージ～

感染防止のため行動が制限され、生活が大きく変わってしまったり、不安にさせる情報にさらされたりすることも同時に起こっています。その結果、子どもたちにストレスがたまりイライラする、眠れないなど様々な問題を起こす可能性があります。子どもは周りの大人が話す時間を作る、一緒に何かをする時間を作るなど、少し心を配ることによって、元気になる場合が多くあります。

子どもをあたたく見守ってあげてほしいと思います。また、感染症において一番怖いのは、人と人との関係が断ち切られることです。新型コロナウイルス感染症は、感染対策をしていれば感染を防ぐことができます。もし、感染したとしても適切に対応すれば感染が広がることはありません。感染を恐れるあまり、人と人との間に距離ができ、疑いの気持ちが起こり、人を信じられなくなることが一番恐ろしいことです。

コロナに負けず、感染症を正しく恐れ、人と人とがつながり、支え合い、みんなでの緊急事態を乗り越えましょう。



今回お話を伺った三原先生は、全ての質問に丁寧に答えくださいました。子どもたちを守るために、この目に見えない敵に対し、日々奮闘して下さっていることを、インタビューを通して痛感いたしました。

三原先生、ありがとうございました。

「楽しい子育て全国キャンペーン」 ～家庭で話そう!我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

令和2年度 三行詩コンクール 徳島県優秀作品

小学生の部

かなしい時、なぐさめてくれる 温かい母の手

この手を私はうけついでいく。 新野小学校 4年 瀬藤 穂乃華

じしゅくきかん 家のろう下がうんどうじよう

家ぞくみんなに こにこえがおの うんどう会

朝起きて はじめの一言「おはよう」は 体も心も目を覚ます

夏之夜 家族みんな 川の字でねる 私の大切な時間

おはようと 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

いただきます 食べれることに 感謝して

おやすみなさい 平和な毎日 また明日

おはよう 笑顔で始まる 一日が

一般の部

お互いの 無事を願って 「いつてらっしゃい」

「ただいまー」 家族の無事が かけがえのない幸せ

親を思い 子を思う 家庭を離れた ほんの一瞬 高浦中学校 下窪 耕司

ぼくの家族は セミみたいに うるさいです。

福井中学校 1年 高鶴 周

協町中学校 1年 住友 愛彩

「早く起きな」とお母さん 「うるさいよ」と言うけれど

福井中学校 1年 和瀬 愛実

「早く起きな」とお母さん 「うるさいよ」と言うけれど

福井中学校 1年 和瀬 愛実

「早く起きな」とお母さん 「うるさいよ」と言うけれど

福井中学校 1年 和瀬 愛実

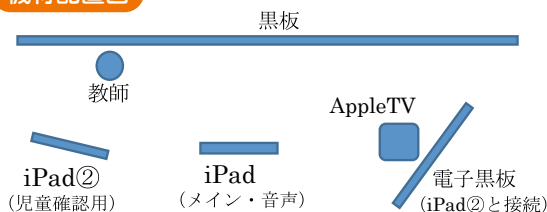
「早く起きな」とお母さん 「うるさいよ」と言うけれど

福井中学校 1年 和瀬 愛実

「早く起きな」とお母さん 「うるさいよ」と言うけれど

Zoom を活用したリモート学習の実践例（那賀町立相生小学校）

機材配置図



実践例①（黒板を使った指導）



タブレットできちんと見える距離を考え、黒板の一部分を活用していました。タブレットには小さく映るため、子どもたちに見やすくするよう、黒板の使い方を工夫していました。この授業では、算数の「点対称」の単元をしており、テレビ通話を通して実際に動作を見せることで、児童の理解を深めていました。実際に授業をしていると、かなり大きな声で授業をしないと、マイクが声をひろってくれないときがあります。そこで今回は、【ハンズフリー】で授業を行っていました。iPad①を三脚に立てて固定化し、iPad①にワイヤレスイヤホンを接続することで、iPad①から離れていても児童とコミュニケーションがとれるように工夫されていました。

また、iPad の画面は先生からは見えなくなっています。理由は、iPad①のインカメラを使用すると映像が反転（鏡）になってしまうためです。子どもたちからは反転になっていませんが、教師が確認するには見にくいですが、これでは児童の様子をうかがいながら授業を進めることができません。これを解決する工夫として、iPad②を活用しています。iPad②は音をひろわないようにミュートしておく必要があります。iPad②を子どもたちと同じように Zoom 会議に参加させて、その映像を AppleTV 経由で電子黒板に映し出すことにより、電子黒板の大画面で複数人の児童の様子を見ながら進めることができていました。

実践例②（Zoom の共有機能を活用した指導）

Zoom 研修会でご紹介した、共有機能も活用していました。事前に準備していた教科書の写真を共有で映して、ポイントに下線や丸を書き込むなどの工夫をしていました。このとき画面は共有された画像に切り替わっているため、先生はタブレットの前で話しながらポイントを整理することができます。

Zoom をつないだまま、ロイロノートを使うこともできます。音声のみでつながっていますので、指示を出しながら課題を提出してもらい、学習内容の理解を深めていました。



リモート学習の成果と課題

【成果】

- ・家庭訪問はできなかったが、朝の健康観察を毎日行うことができ、児童とのコミュニケーションを図れた。
- ・なかなか発表が苦手な子ども、機器が音をひろってくれるので、多くの子の意見を聞くことができた。
- ・校区が広く、近くに同級生がいないため、臨時休校で会えない友達と Zoom によって会話をすることを楽しんでた。
- ・ゆっくりと授業を進めることができた。残りの時間をワーク学習などにすると、質問がいつもよりあったので、説明することができ、個別学習にも生かすことができた。

【課題】

- ・ミュート機能を使って上手に発表などを行えたが、ノートを書く音など雑音もよくひろってしまう。
- ・机間巡視ができないため、タブレットの向こうでちゃんとノートなどをとれているのかが、なかなか確認できない。つまづきを見出しにくいのではないかなと思う。

※この原稿は令和2年5月に相生小学校で実施されたリモート学習の様子を取材し、取りまとめたものです。

那賀町教育委員会

編集後記

コロナ特集、いかがでしたか。各学校・家庭で、コロナに打ち勝つための様々な努力や工夫を知ることができました。引き続き感染予防に努め、こういう時こそ思いやり、この苦難を一緒に乗り越えていきましょう。広報紙作成にあたり、ご協力・ご支援いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。広報委員一同

子供たちの健やかな育ちのために
「とくしま親なびげーたー」を派遣します！

学校（園）全体でのPTAの研修に！
学年・学級懇談会の新たな形として！
地域での家庭教育の充実のために！

ぜひ！ご活用ください！！

お問い合わせ
電話番号：088-621-3148
FAX番号：088-621-2884
メールアドレス：syougaiakusyuuka@pref.tokushima.jp

とくしま親なび 検索